

# モモせん孔細菌病は短期間の雨よけ処理と果実の袋かけを 組み合わせて効率的に抑制できる

福島県農業総合センター 果樹研究所 病害虫科

部門名 果樹－モモ－病害虫防除

担当者 七海隆之、藤田剛輝

## I 新技術の解説

### 1 要旨

雨よけ処理はモモせん孔細菌病の有効な防除対策であるが（平成 28 年度参考成果）、処理期間が長くなると灌水が問題となる。そのため、現地の本病多発ほ場において被覆期間の比較試験を行ったところ、果実の袋かけを併せて実施することで、短期間（幼果の感染時期）の雨よけ処理でも被害を効率的に抑制できることが明らかになった。

- (1) 伊達市内の現地モモほ場（品種「ゆうぞら」）に雨よけハウスを設置し、2020 年 5 月 1 日（落花 2 週間後頃）からハウスビニールを被覆した（図 1）。
- (2) 雨よけ処理区には、短期間雨よけ処理区（処理期間：5 月 1 日～袋かけ終了 15 日後の 6 月 30 日）、長期間雨よけ処理区（処理期間：5 月 1 日～収穫後まで）の 2 区を設けた。
- (3) 防除対策として、スピードスプレーヤによる現地慣行の薬剤による防除、春型枝病斑のせん除を定期的実施した。また、6 月 15 日に全試験区の果実に袋かけを実施した。
- (4) 各試験区の発病枝率は非常に高かったが、収穫期における短期間雨よけ処理区の発病葉率は 14.2%、発病果率は 3.2%、同様に長期間雨よけ処理区では 4.8%、3.7%であり、無処理区（発病葉率 66.7%、発病果率 67.1%）と比較して被害は大幅に減少した（表 1）。
- (5) 各試験区の平均果実重は 232～252g であり、試験区による差は認められなかった（表 2）。

### 2 期待される効果

- (1) 本病の被害を抑制することができ、高品質な果実の安定生産に寄与できる。

### 3 適用範囲

- (1) 県内のモモ生産者

### 4 普及上の留意点

- (1) ハウス内に雨が吹き込む場合があるため、春型枝病斑のせん除を必ず実施する。
- (2) 短期間の雨よけ処理の場合、処理後に新梢葉での発生が増加する可能性がある。
- (3) ハウスビニールの被覆期間中は、灌水が必要である。

## II 具体的データ等

表1 伊達市現地ほ場におけるモモせん孔細菌病の発生状況（2020年）

試験区	一年枝調査（3～6月累計）		新梢葉調査（8月21日）		果実調査（8月13日）	
	調査枝数	発病枝率（%）	調査葉数	発病葉率（%）	調査果数	発病果率（%）
短期間雨よけ処理区 （処理期間：5月1日～6月30日）	3084	7.3	1167	14.2	1138	3.2
長期間雨よけ処理区 （処理期間：5月1日～収穫後）	2474	11.2	1199	4.8	1076	3.7
無処理区	2143	12.4	553	66.7	700	67.1

注）全試験区において6月15日に果実の袋かけ、8月12日に除袋を行った。  
短期間雨よけ処理区では6月30日に罹病葉を全て除去した。

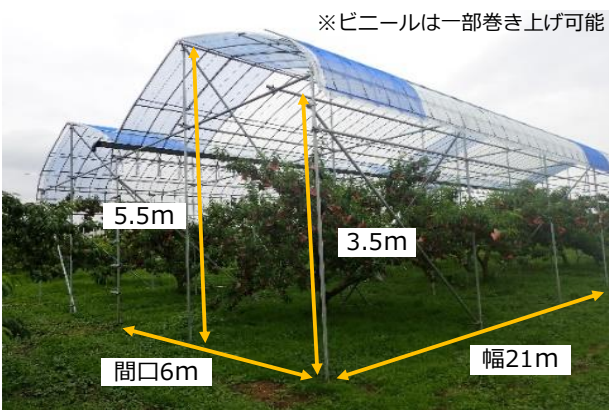


図1 伊達市現地ほ場の雨よけハウスの設置状況

表2 各試験区の平均果実重(2020年)

試験区	平均果実重 (g)
短期間雨よけ処理区	252
長期間雨よけ処理区	232
無処理区	244
F値	1.59
	n.s.

注）n.s.は有意差が無いことを示す。

### 【参考1】雨よけ施設導入費用の試算

本体部材（千円/10a）	2,700
被覆部材（千円/10a）	149
施工費（千円/10a）	1,341
計（千円/10a）	4,190

※20a連棟の雨除け施設で試算。

### 【参考2】モモせん孔細菌病の被害率別のモモ（晩生種）の収益

	被害率（%）					
	0	10	20	30	40	50
想定収穫量（kg/10a）	2,500	2,250	2,000	1,750	1,500	1,250
粗収益（千円/10a）	1,238	1,114	990	866	743	619
費用※（千円/10a）	557	599	599	599	599	599
所得（千円/10a）	681	515	391	267	144	20
減収額（千円/10a）	0	▲166	▲290	▲414	▲538	▲661

注）モモの単価は495円/kgで試算。被害率0%は、雨よけ施設の導入により、せん孔細菌病防除剤6剤を削減したものと費用を計算。  
なお、雨よけ施設の減価償却費は除く。

## III その他

### 1 執筆者

七海隆之

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成27～令和2年度

(2) 研究課題名 果樹病虫害の防除法改善試験〔「園芸王国ふくしま」グローバルリンク事業〕

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 七海隆之・柳沼久美子，モモせん孔細菌病は雨除け処理で減少する，平成28年度参考成果
- (2) 七海隆之，簡易雨除け処理によるモモせん孔細菌病の防除効果，革新的技術開発・緊急展開事業 地域戦略プロジェクト研究成果パンフレット，農研機構 生研センター，2019.
- (3) 令和3年版 福島県農作物病虫害防除指針.

モモせん孔細菌病の被害率が30%以上の場合は減価償却費（試算額419千円/10a）と同等以上の減収額となることが想定される。そのため、被害率が30%以上の場合、雨よけ施設の導入は経済性があると判断される。